

## 学校教育目標の実現に向かって

令和8年4月8日  
校長

令和8年度が始まりました。今皆さんは、希望に満ちあふれていますか、それとも不安でいっぱいですか。まずは、だれもが新しい一步を今日踏み出したばかりですから、心配はいりません。

高浜中学校は「グローバル社会で自ら未来を創造する生徒の育成」を学校教育目標にスタートしました。

学校は「間違えるところ」「わからないと堂々と言えるところ」です。暗記すればすぐできる、答えがわかっていることを学ぶだけの場ではありません。様々なことに対し、みんなで知恵を絞りながら、そして先生が支援することで問題解決をする場です。そうした取組みの中で、必要な情報を手に入れる、ゲームでいえば苦勞してアイテムを手に入れたり、役割分担をして敵を倒したりすることと同じようなものです。スポーツでも芸術活動でも同じことが言えます。たくさんの失敗を積み重ねてこそ、そこから学び、生まれる力を皆さんには付けてほしいのです。

そのためには、昨年度皆さんに紹介をした「愛語（あいご）」です。皆さんは相手を大切に言葉を遣っていますか。先生たちも皆さんにたくさんの「愛語」を用いて接していきます。時には強くなってほしい、わかってほしい、いけないよと知らせるために、強い言葉をかけるかもしれません。しかしながら先生方は、皆さんを大切に大切に育てていきたい、そんな気持ちでいます。ぜひ、皆さんにも「愛語」を使った生活を送ってほしいです。

相手の存在を大切に、相手の気持ちを大切に、そして自分の存在、気持ちを大切に過ごしてください。

最後に、とある大学の総長（学長）の言葉をお伝えしますね。

\*\*\*\*\*

ここでは、今年3月東大総長の言葉を紹介しました（ほんの一部）。

“これからの時代をリードしていく学生たちに向けた式辞として、グローバル社会の中でリーダーとして活躍していくためには、「Diversity（多様性）」「Equity（公平性）」「Inclusion（包括性）」の頭文字を取った DEI の視点が大切だ”とおっしゃいました。

\*\*\*\*\*

本校は、今現在、皆さん自身が日常生活の中において、互いの多様性を認め、考え抜く力やコミュニケーション力を大切にした本校の取組みを理解してくれています。日本の最高学府である東京大学の総長も話題にしているものであり、皆さんが頑張ろうという取組みは、是非とも自信をもってほしいです。学校教育目標を決定するにあたり、皆さんの考えを聞かせてもらえたことは大変意義のあるものです。

ですから、みんなで力を付けていきましょう。

令和8年4月8日 始業式の言葉